

皮膚科

● スタッフ（平成30年10月1日現在）

診療科長 坪井 良治
医局長 伊藤 友章
病棟医長 齋藤 万寿吉
外来医長 阿部 名美子

医師数 常勤 29 名
非常勤 17 名

● 診療科の特徴

当科では年2回地域連携の会を開催し、近隣の開業医・総合病院の先生方と“顔の見える関係”を作り連携を行っております。当科の方針として国の政策に基づき“ふたり主治医制”を導入し、病状が落ち着いた患者様は、紹介医のもとで引き続き治療して頂いています。なお、緊急を要する疾患に対しては、常時対応しております。

- ①難治性皮膚疾患全般に対応
- ②皮膚癌の診断と皮膚外科手術を中心とした集学的治療
- ③尋常性乾癬の診断と重症例に対する生物学的製剤を中心にした最新治療
- ④自己免疫性水疱症の診断と治療
- ⑤膠原病、血管炎が原因の慢性皮膚潰瘍の治療
- ⑥アトピー性皮膚炎の治療と生物学的製剤による最新の治療
- ⑦円形脱毛症と尋常性白斑の治療と管理
- ⑧色素病変に対するレーザー治療
- ⑨遺伝性皮膚疾患の遺伝相談
- ⑩巻き爪、陥入爪の治療
- ⑪重症慢性蕁麻疹による生物学的製剤をもちいた最新の治療

● 診療体制と実績

当科では、特に皮膚悪性腫瘍治療に力を入れており、悪性腫瘍手術件数は都内有数の症例数を誇ります。また、生物学的製剤治療を積極的に導入し、尋常性乾癬重症例をはじめとする各種疾患に投与しています。その他にも脱毛症・白斑・アレルギー・遺伝性疾患・水疱症など専門外来を開設しており、各分野の専門医師が対応しております。

1) 外来診療体制と実績

2018年度の当科外来実績は延べ患者数44109人、初診患者数5148人、1日平均患者数164.6人（初診患者19.2人、再診患者145.45人）でした。年間外来小手術件数は493件でした。悪性腫瘍通院患者数（表1）は年々増加しております。

2) 入院診療体制と実績

当院入院加療はご紹介いただいた患者様を中心に集中治療させていただいております。悪性腫瘍、感染症、乾癬、アトピー性皮膚炎、水疱症、膠原病など様々な疾患に対応します。また、小手術は循環器疾患や脳梗塞ガイ

ドラインに沿って、抗凝固剤、抗血小板剤を中止せず実施し、短期入院手術も行っております。2018年度は入院患者数（図1）484名、最も多い疾患群は悪性腫瘍であり、次いで感染症の順にでした（表2）。悪性腫瘍の内訳（表3）は基底細胞癌、悪性黒色腫、有棘細胞癌が多いです。なお、良性腫瘍手術は、患者様の術後の痛みや出血を考慮し数日間の短期入院で行っています。

皮膚科外来悪性腫瘍患者数（継続患者を含む）（表1）

病名	2015	2016	2017	2018
有棘細胞癌	73	73	73	83
光線角化症	78	78	70	52
ボーエン病	47	41	29	28
基底細胞癌	118	125	104	110
乳房外パジェット病	32	24	23	21
エクリン汗孔癌	2	2	2	6
脂腺癌	1	1	3	3
メルケル細胞がん	—	—	2	2
悪性黒色腫	75	80	88	91
血管肉腫	10	5	8	5
隆起性皮膚線維肉腫	7	10	10	11
成人T細胞リンパ腫	2	0	2	2
菌状息肉症	33	42	43	42
セザリ－症候群	0	0	0	0
転移性皮膚腫瘍	7	10	6	15

皮膚悪性腫瘍（内訳）（表3）

基底細胞癌	23
悪性黒色腫	80
ボーエン病	9
有棘細胞癌	35
隆起性皮膚線維肉腫	1
乳房外パジェット病	3
頭部血管肉腫	10
その他	17
計	178

2018年度疾患別入院患者数（表2）

感染症	104
悪性腫瘍	178
良性腫瘍	96
皮膚潰瘍	16
湿疹・炎症性角化症	18
薬疹・中毒疹	24
膠原病・血管炎	17
水疱症	20
その他	11
不明	0
計	484

入院患者数（図1）

